

第9回 日本語教育夏期講座

— OPI の理論・応用・体験 —

対象：現在日本語教育に携わっている方、または日本語教育に関心のある方。

埼玉県内在住または勤務する方

目的：日本語教育についての理解を深める。

期日：平成22年8月5日（木）

会場：文教大学越谷校舎 3号館（3301R）

定員：30名

◆ 講義内容

講義①「OPIの理論と応用の可能性」

嶋田 和子（イーストウエスト日本語学校）

OPI（Oral Proficiency Interview）とは、話し手がその言語を使って何が出来るかを1対1のインタビュー形式で調べる会話試験です。講義では、OPIの理論を紹介するとともに、日本語教師が授業でどのようにOPIの考え方を応用し、生かすことが出来るのかについて考えます。

講義②「OPIの日本語授業への応用 -ロールプレイを授業に生かす-」

酒井 祥子（イーストウエスト日本語学校）

OPIのタスクの一つにロールプレイがあります。学習者にとって意義のあるロールプレイを行うためには、どのようなことに配慮すればよいのでしょうか。ロールプレイを使った授業展開の例を提示し、参加者の方とともに考えていきます。

講義③「体験！OPIに基づいたロールプレイ」

奥野 由紀子（横浜国立大学）

講義①で学んだOPIの考え方、および講義②で提示したロールプレイの授業展開例などに基づき、講義③は参加者の方が実際の日本語授業にOPIを応用する方法を体験する時間とします。

実際にロールプレイを体験することで、ロールプレイの方法や効果をより深くご理解いただけるものと考えています。具体的な内容としてはロールプレイのタスクの作成や、母語話者同士、および日本語学習者とのロールプレイの練習などを企画しています。

文教大学 大学院附属 言語文化研究所 夏期講座

平成22年8月5日(木)※4講座 6日(金)※書道講座のみ

英語教育夏期講座

— 英語を学び続ける:学校で・生涯学習で・文学で—

日本語教育夏期講座

— OPIの理論・応用・体験 —

中国語教育夏期講座

— 中国語学習を通じて異文化にふれる —

10:30 12:00	「シニア対象の生涯学習英語： 理解可能な英語(intelligibility)の 獲得を目指す音声指導」 糸井 江美 (文教大学)・	「OPIの理論と応用の可能性」・ 嶋田 和子 (イ・ストゥイスト日本語学校)	「第二外国語としての中国語教育・ —高校生編—」 舘野 由香理 (埼玉県高等学校中国語講師)・
13:00 14:30	「Three learners' typesを 意識した学習指導」 松岡 潤 (ルネサンス補習授業校)	「OPIの日本語授業への応用 —ロールプレイを授業に生かす—」 酒井 祥子 (イ・ストゥイスト日本語学校)	「コンピューターによる 中国語の発音学習」 蔣 垂東 (文教大学)・
14:45 16:15	「日本とイギリスの出会いと・ ロビンソン・クルーソーの物語」 磯山 甚一 (文教大学)・	「体験! OPIに基づいたロールプレイ」 奥野 由紀子 (横浜国立大学)・	「中国人のジェスチャーと挨拶ことば —より中国語らしく表現するために—」 毛 賀力 (上海海事大学)・

書写書道教育夏期講座

※受講無料 (但し資料代500円。書道のみ1,000円)

A・書文化コース

吉沢 義和 (元文教大学文学部教授)

B・学校教育コース

豊口 和士 (文教大学)

5 日 (木)	10:30 12:00	「創作(1)」 ・ 創作の手順・	「新学習指導要領解説」・ ・ 改訂のポイント (小中高)
	13:00 14:30	「創作(2)」 ・ 漢字の書を中心に 作品の構想を練る	「実技(1)」 ・ 基本的な用筆法・運筆法
	14:45 16:15	「創作(3)」 ・ 構想をもとに試書する	「実技(2)」 ・ 漢字(楷書)
6 日 (金)	10:30 12:00	「創作(4)」・ ・ 小品(半切以下)を 仕上げる	「実技(3)」 ・ 漢字(行書)
	13:00 14:30	「講義」 ・ 書の鑑賞の態度	「実技(4)」 ・ 仮名(平仮名・片仮名) ・ 漢字仮名交じり文
	14:45 16:15		「実技(5)」 ・ 漢字(草書・隸書・篆書)



会場：文教大学 越谷校舎

北越谷駅 下車 西口 徒歩10分
(東武伊勢崎線・東急田園都市線・東京メトロ日比谷線)

主催：文教大学大学院附属言語文化研究所

申込締切：平成22年7月22日(木)必着・

問合わせ：(048)974-8811

お申込み：<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>